

新しい一年が始まり、皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのことと存じます。今号では、市民お月見会の入選作品や特選受賞者のコメント、そして年明け以降の行事予定をお届けします。寄せられた作品には、暮らしの中の景色や小さな願いが静かに息づいています。どうぞ作品の世界に触れ、新しい一年の始まりに小さな彩りを感じていただけたら幸いです。

## 第52回豊橋市民お月見会 受賞作品紹介

11月22日(土)に「第52回豊橋市民お月見会」の表彰式が行われました。今年は川柳129句、俳句156句、短歌110首の中から「特選」「秀逸」「佳作」の作品がそれぞれ選ばれました。特選の方々のコメントとともにご紹介いたします。

### ●特選作品紹介

【川柳の部】

名月に再起を祈り並ぶ肩

西郷紀美代

— どのような想いで詠まれましたか？

今年の盆前に、夫は発熱が続き緊急入院。生検の結果は悪性リンパ腫。余命数ヶ月の宣告。腎臓や肝臓、喘息などの持病があり、緩和ケアも考えましたが、主治医からは「今は治療も進化していて、治療をしないなんて勿体ない」と励まされ治療することに。二週間入院しましたが、夫は、趣味の短歌会に出られないことに涙して悔しがっていました。その時の想いを川柳にしてみました。

お月見の時には自宅療養でしたが、抗ガン治療で、貧血状態。体の怠さが常にあり、また、口内炎の繰り返しで食事が大変。今でも闘病生活が続いています。

— 川柳を始められたきっかけを教えてください。

平成18年10月末ごろ東日新聞に、故鈴木如仙先生の選評で川柳が載っていました。その中に知人の名前を見つけて懐かしくなり、また最後に「新人歓迎」とあったので応募してみました。先生からは、すぐ手紙を頂き(やしの実)の会員となりご指導を頂きました。川柳の基本を学び一生懸命でしたが、楽しく、今では懐かしい思い出です。

\*

【俳句の部】

月光の天へ階なす棚田かな

大竹宏一

— どのような想いで詠まれましたか？

今年は中秋の名月が見られるか危ぶまれましたが、中秋の名月の晩、家の二階の窓を開けて外を眺めました。目前に広がる月光が屋根屋根を照らす光景は、過日奥三河の布里の里への道中で見た燦然と輝く月光に照らされる棚田を彷彿とさせました。そこで屋根屋根を棚田と思い作品を詠みました。

— 俳句を始められたきっかけを教えてください。

還暦を過ぎて健康の為に田原の蔵王山に登るようになりました。登山道の両端に俳句の書いた杭が頂上まで続いており、それを読んで魅力を感じました。その頃田

辺弘之先生の俳句講座が南部地区市民館で始まることを知り受講しました。早や23年がたち、今は田辺弘之、高橋いすず両先生の元、豊橋、田原、新居の仲間と月2回の句会を楽しんでいます。

\*

【短歌の部】

農を辞め兄の作りし里芋は  
小ぶりで円し今宵名月

木下カヅヨ

— どのような想いで詠まれましたか？

定年退職をして、時間のゆとりが出来た頃から月に関心を持つようになりました。特に中秋の名月は、真夏の様な今年の気温の中でも、澄んだ空に秋を感じさせてくれます。月を愛でながら、ふる里や賑やかだった家族との暮らしを憶います。私のふる里は大分県ですが東三河に来て五十年以上が経ちました。父母はすでに他界している、里には高齢の兄夫婦が暮らしています。稲作中心の山里が高齢化と若者の流出で人口は減り、今では稲作は法人に委ねているのが現状です。兄は家庭菜園のみで野菜を育て、母がしてくれた様にダンボールに里芋、カボス、しいたけなど詰めて送ってくれます。ふる里に浸れる嬉しく幸せなひと時です。

— 短歌を始められたきっかけを教えてください。

六十年程前のこと、大学で始めて記憶に残る三十一文字の歌に出会いました。茶道の祖である千利休が、茶道の精神として大切にしていたといわれる次の和歌です。花をのみ待つらん人に山里の雪間の草の春を見せばや(藤原家隆)当時の家政学のゼミの先生の茶道に熱心でしたが、家事労働の家族への心配りや茶道の客に対する心づかいなど、この和歌を紹介しながら講義されたことが強く印象に残っています。特に、温かく人を励ます様なこの和歌をその後もずっと大事にして来ましたが、定年退職してから短歌を作りはじめました。

入選作品集を配布しています。

今回のお月見会の入選作品集を三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で無料配布しています。

### ●秀逸作品紹介

【川柳の部】

探査機が月へと延ばす旅の足

小野田静花

お月様女性総理の世を照らす

高橋良子

お月さま弱音を吐いていいですか

鈴木裕子

【俳句の部】

居待月おとなで子どもで十五歳

遠藤榮子

母はまた無月の道をひた歩き

岩城みつ代

百歳の漢嬰樂月仰ぐ

中尾美智子

【短歌の部】

クレパスの黄の色映えて夫描く

ぬり絵の満月空ひとりじめ

原田敏子

youtube は 1.5 倍速で見る君と

ゆっくり月を眺める

本田 寛

満月を独り飛び出て八十年

千支はうさぎぞ今尚跳ねる

中尾襄一

\*

【学生の部 優秀作品】

(川柳) もちつきの選手交代うさぎさん

池田めい

(俳句) お月見会今日はくもりでかくれんぼ

小川桃佳

(短歌) 満月に風の音だけ響きたる

人なき道を影が流れる

竹内梧朗



## 新春ご挨拶

公益財団法人豊橋文化振興財団  
理事長 高須博久



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より当財団の活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、地域の皆様とともに文化を育み、次世代へとつないでいく多くの機会に恵まれた一年となりました。舞台芸術や伝統文化の鑑賞・体験事業、文化団体の皆様による日頃の研鑽の成果の発表など、いずれの場面においても、人と人が集い、文化を介して心を通わせることの大切さを、改めて実感いたしました。

また、小学校へ出向いて行うアウトリーチ活動や、文化団体の先生方のご協力を得て開催した伝統文化こども教室などを通じて、子どもたちが芸術や伝統文化に触れる機会を大切にまいりました。

一方で、社会を取り巻く環境は大きく変化し、文化活動を継続していくためには、これまで以上に柔軟な発想と工夫が求められています。当財団といたしましても、公共性を大切にしながら、時代に即した事業のあり方を模索し、文化が日常の中に自然に息づく環境づくりに取り組んでまいります。

本年も、子どもから大人まで、誰もが文化に親しみ、学び、楽しむことのできる機会を提供するとともに、地域で活動される多くの文化団体や関係者の皆様との連携を一層深めていきたいと考えております。文化は一朝一夕に育つものではありませんが、皆様と力を合わせることで、確かな歩みを積み重ねていけるものと信じております。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多く、心豊かな一年となりますことをお祈り申し上げますとともに、引き続き当財団の活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 今号の一枚

《春の輝き》 撮影場所：袋井市



写真家 田中 歩 NHK文化センター名古屋教室／浜松教室 講師

## 豊橋市民文化会館ホール リニューアル記念イベントを開催します！

豊橋交響楽団・森のこみちバンド  
記念ミニコンサート

— 新しく生まれ変わったホールの幕開けは音楽から —

豊橋交響楽団と森のこみちバンドによる、各20分ほどのこけら落としミニコンサートで、リニューアルした空間と音響をお楽しみください。客席は351席となり、ゆとりある配置に。明るく生まれ変わったホールをぜひご堪能ください。

▶日時／令和8年3月14日(土) 午後2時開演(午後1時30分開場)  
▶会場／豊橋市民文化会館ホール ▶入場料／無料(要・整理券)  
▶整理券配布／2月18日(水)から豊橋市民文化会館窓口で配布

### 記念特別展

「大野俊治の世界 1985-2023 人か佛か妖怪か？」

アーティスト・大野俊治がつくり続けた〈存在〉のかたち。1985年から現在まで、異界と現世を往還する100点を展示します。人・佛・妖怪が交錯する独自の世界をお楽しみ下さい。

▶会期／令和8年3月13日(金)～22日(日)※3/16(月)休館  
午前10時～午後5時 ▶会場／豊橋市民文化会館2F 展示室  
▶入場料／無料 ▶アーティストトーク／3/20(金・祝)午後2時～



## 令和8年度 維持会費納入のお願い

豊橋文化振興財団は、財団の目的及び事業に賛同する維持会員の皆様方の財政的支援および文化事業への参加を通じて、本年度も安定的な運営ができております。皆様方のご支援に心よりお礼申し上げます。

光熱費をはじめとした物価上昇の影響が大きい中、誠に恐縮ですが新年度も引き続き、ご支援・ご協力を賜りたく、令和7年度の維持会員の皆様には、3月上旬に更新のご案内を送付させていただきます。何卒、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

▶会員期間／令和8年4月1日～令和9年3月31日  
▶会費(1口)／普通個人会員＝3,000円 特別個人会員＝10,000円 特別団体会員＝10,000円 特別法人会員＝20,000円 特別賛助会員＝50,000円

## 気まぐれ VOL.22 プチ旅

上野公園と浅草橋界隈  
斧路朱音

「一生に一度の出会い。奇跡の大回顧展!」のキャッチフレーズと「ミロ展を見る!」という知人のベタなオヤジギャグにつられて『東京都美術館』に訪れたことがある。早朝から多くの美術ファンが詰めかけ、9時半の開門と同時にエスカレーターで一斉に地下になだれ込む集団…そのあとに続き会場へ向かう。1893年、スペインのバルセロナ生まれで、ピカソと並び20世紀の巨匠と称されるジョアン・ミロは、自然界にある形を抽象的な記号に置き換えた詩情溢れる独特な画風で知られる。この回顧展では、初期から晩年に至る絵画をはじめ、彫刻や陶芸など各時代を彩った選りすぐりの作品を世界中から集め、その真髄を伝えている。とりわけ《ヤシの木のある家》など初期作品と1920年代の《オランダの室内》、戦火を免れながら「星・夜・音楽」をテーマに描いた《星座》シリーズの3点が見どころだが、ミロの制作意欲は晩年になっても衰えなかった…新たな表現に挑戦した《焼かれたキャンバス2》には、ちょっと驚かされた。

『東京都美術館』を出て、ル・コルビュジエ設計による世界遺産『国立西洋美術館』の「西洋絵画、どこから見るか?ールネ



サンスから印象派まで」をハンゴ…副題に「サンディエゴ美術館VS国立西洋美術館」とあるようにアメリカと日本の共同企画展で、サンディエゴの日本初公開49点と西洋美術館の88点を組み合わせる36のテーマに基づき、比較展示を行いながら西洋美術史の流れを紹介するという趣向だ。特に《マルメロ、キャベツ、メロンとキュウリのある静物》と題する写実絵画が目に残った。



さて、その日の宿は浅草橋のビジネスホテルで、上野からは秋葉原経由で総武線に乗り換えて2駅と近い。ホテルに入る前に柳橋にある洋食『大吉』に立ち寄り、予約を入れようとしたが、テーブルはすでに満席…カウンターなら空いているというので、19時にリザーブ。酎ハイを飲みながらホテルで待っていると、東京に住む娘から着い

たとのメールがあり、急いで現場に向かった。階段を降りて入店し、カウンターの止まり木に着席。娘は《ハンバーグ(デミグラスソース)》に《コーンスープ&ライス》のセット、私は《メンチカツ》に同じセットを注文。目の前の厨房ではコックたちが忙しく立ち働き、旨そうな料理が次々と運ばれていく。ここは食通で知られる文豪・池波正太郎が愛した店…「まだ微かながらも大川端の名残をとどめている柳橋の花街の近くにあるこの洋食屋を見つけて、ぶらりと入ったのは、今年の2月ごろであったかと思う。入って見て、食べて見て、一瞬、私は戦前の東京へ引きもどされたようなおもしろい。清潔で活気にみちた店内、親切なサービス。良心的な値段と味。これはまさに、戦前の東京下町の洋食屋である。レストランではない。開業して、まだ4年だというが、20年も30年もむかしからの店という落ちつきがあった。」(『新しいもの古いもの』講談社)とエッセイにしたためている。確かに料理はボリュームもあり、すべてに満足したが、娘は私の《メンチカツ》の皿に添えられたマカロニサラダが特に気に入る、単品で追加注文して旨そうに頬張っていた。






# 催し物スケジュール 2月 - 4月

2月	
1日(日)	茶道クラブ月例会会 (担当:煎茶売茶流) 時間/10時〜 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般800円、会員700円(事前予約制) お茶を楽しむ会 (表千家山口社中) 時間/10時〜15時(13時30分までにお入りください) 会場/豊橋市三の丸会館 会費/2,500円
8日(日)	Trombone Quartet JOINT CONCERT 時間/13時30分〜 会場/ライフポートとよはし 中ホール 入場料/無料 内容/愛知・神奈川・大阪で活動しているアマチュア奏者8人による、トロンボーンアンサンブルの演奏会
10日(火)	第43回財団加盟美術団体選抜展(写真・書道) ..... 15日(日)まで 時間/9時〜17時(最終日は16時まで) 会場/豊橋市美術館 第2・3企画展示室 入場料/無料 内容/豊橋文化振興財団に加盟する10団体による合同作品展
11日(水・祝)	冬の伝統文化こども教室 茶道の部(裏千家) 時間/午前の部10:00〜12:00 午後の部13:00〜15:00 会場/豊橋市三の丸会館 参加費/700円(要・事前申込) 講師/河原崎宗妙(裏千家) 第43回華道家元池坊豊橋支部花展・草木の命(伝統・未来・紡ぐ) ..... 12日(木)まで 時間/10時〜17時(12日は16時まで) 会場/穂の国とよはし芸術劇場 アートスペース 入場料/無料 内容/池坊豊橋支部に所属する会員による生け花の展覧会
15日(日)	日曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室
18日(水)	水曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室
20日(金)	お抹茶の愉しみ方講座 ※全2回(2/27 [金]開催) 時間/13時30分〜15時30分 会場/豊橋市三の丸会館 参加費/2,000円(要・事前申込) 講師/後藤豊子(宗偏流豊橋支部)他
21日(土)	なごやか〜な こんさあと 時間/13時〜 会場/豊川市小坂井文化会館 フロイデンホール 入場料/無料 内容/ピアノを主としたコンサート
22日(日)	プラスジャンボリー in豊橋 時間/12時30分〜17時 会場/ライフポートとよはし コンサートホール 参加費/一般3,000円、小学生〜高校生1,000円 内容/サックス奏者 福井健太さんの指揮で合奏します。
28日(土)	第21回チャリティー芸能祭 時間/12時30分〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料
3月	
1日(日)	茶道クラブ月例会会 (担当:南坊流) 時間/9時30分〜 会場/豊橋市三の丸会館 会費/一般800円、会員700円(事前予約制) 第12回オオミナオ バレエスタジオ発表会 時間/14時30分〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場 主ホール 入場料/無料 内容/クラシックバレエの発表会
6日(金)	裏千家六日会月金 時間/10時〜 会場/豊橋市三の丸会館 会費/1,000円(一般参加可) 担当/井上宗加
7日(土)	第52回盆栽逸品展 ..... 8日(日)まで 時間/9時〜17時 会場/豊橋市民文化会館 2F展示室 入場料/無料
8日(日)	第18回津軽三味線 雅會 発表会 時間/10時〜 会場/豊橋市公会堂 入場料/無料 内容/雅會会員による三味線演奏に民謡歌手による唄をのせて発表
13日(金)	第38回豊橋素人歌舞伎保存会定期公演 時間/11時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場 主ホール 入場料/無料 内容/農村歌舞伎の復興を目指し、市内の愛好家が昭和61年に結成した豊橋素人歌舞伎保存会による定期公演 演目/「寿式三番叟」/菅原伝授手習鑑 吉田社頭車引の場」「弁天娘女男白浪 稲瀬川勢揃の場」他 豊橋市民文化会館ホールリニューアル記念特別展 「大野俊治の世界 1985-2023 人か佛か妖怪?」 ..... 22日(日)まで 時間/10時〜17時 会場/豊橋市民文化会館 2F展示室 入場料/無料
14日(土)	HEART Global ミュージック・アウトリーチツアー 2026春in豊橋 ..... 15日(日)まで 会場/穂の国とよはし芸術劇場 主ホール 内容/HEART Globalのキャストを招き、子どもたちに歌とダンスのワークショップを実施する。
15日(日)	豊橋市民文化会館ホールリニューアル記念イベント 「豊橋交響楽団・森のこみちバンド 記念ミニコンサート」 時間/14時〜 会場/豊橋市民文化会館 ホール 入場料/無料(要整理券)
18日(水)	日曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室
21日(土)	三木論メモリアルコンサート 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはし コンサートホール 入場料/1,000円 内容/三木論先生にゆかりのある200余名による独唱、ピアノ演奏、合唱などのコンサート
26日(木)	水曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室 半日クラス合唱部 時間/10時〜12時30分 会場/ライフポートとよはし コンサートホール 参加料/1,000円 内容/その日集まった仲間と練習して、テーマ曲を歌います。 テーマ曲/糸(中島みゆき) 桜丘高校吹奏楽部 第39回定期演奏会 ..... 22日(日)まで 時間/21日18時30分〜 22日14時〜 会場/アイプラザ豊橋 入場料/指定席1,200円、自由一般1,000円、学生500円 内容/桜丘吹奏楽部・中学・高校・OBによる演奏会。21日＝クラシック、ミュージカル、ポップス 22日＝クラシック、マーチング、ポップス 豊橋商業高等学校吹奏楽部 定期演奏会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 ホール 入場料/無料
28日(土)	美しく整う日本舞踊エクササイズ 時間/11時〜 会場/豊橋市民文化会館 多目的室 参加費/500円 内容/和の動きを取り入れた優しい健康運動を行います 講師/西川満翠(満帆会) 中桐万里子 講演会 時間/15時〜 会場/豊橋市民文化会館 ホール 入場料/1,000円 内容/二宮金次郎七代目中桐万里子さんの講演会 豊橋青少年音の輪事業「スプリングクリニック」成果発表コンサート 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはし コンサートホール 入場料/無料 内容/吹奏楽やオーケストラ等の音楽に携わる市内在住・在学の中高校生がプロ講師の指導を受け練習した成果を発表します。
31日(火)	志多ら 豊橋公演「おもやひ」 ..... 29日(日)まで 時間/28日:17時30分〜、29日:15時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場 主ホール 入場料/一般5,000円 他 松月堂古流東三支部 春のいけばな展 ..... 30日(日)まで 時間/10時〜16時(最終日は15時) 会場/豊橋市三の丸会館 入場料/無料 葦の風とよはし弦楽コンクール 時間/10時〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場 創造活動室A 内容/弦楽器のコンクール

4月	
14日(火)	第43回日本水彩画会 豊橋支部展 ..... 19日(日)まで 時間/9時〜17 会場/豊橋市美術館 入場料/無料 内容/水彩画約50点の展示
15日(水)	水曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室
17日(金)	第812回邦楽鑑賞会 時間/18時〜 会場/豊橋市民文化会館 入場料/無料 内容/市内邦楽団体による発表会
19日(日)	第135回豊橋交響楽団定期演奏会〜「新たな地平」のその先へ〜 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはし コンサートホール 入場料/一般2,000円、小中高生500円 曲目/ドヴォルザーク:交響曲第8番ト長調、グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 ウェバー:歌劇「オベロン」序曲 独奏/野畑さおり(ピアノ) 指揮/鈴木良輔(豊響指揮デビュー)、下谷剛嗣(豊響音楽監督)
25日(土)	日曜短歌会 時間/13時〜 会場/豊橋市民文化会館 第6会議室 春の市民茶会 ..... 26日(日)まで 時間/10時〜15時 会場/豊橋市民文化会館 茶席/1席700円(前売) 豊橋総合いけばな展(春) ..... 26日(日)まで 時間/10時〜16時 会場/豊橋市民文化会館 2F展示室 入場料/無料
26日(日)	安藤優子チャリティ講演会 時間/13時30分〜 会場/穂の国とよはし芸術劇場 主ホール 入場料/3,000円 豊橋青少年少女合唱団 第46回定期演奏会 時間/14時〜 会場/ライフポートとよはしコンサートホール 入場料/1,000円 内容/ヨーロッパの歌、ワンステージメンバーと一緒にsing we are未来に受け継ぐハーモニー
29日(水・祝)	

お抹茶の愉しみ方講座

■とき/令和8年2月20日(金)・27日(金)  
午後1時30〜午後3時30分 ※全2回講座  
■ところ/豊橋市三の丸会館  
丁寧にいれた一服のお茶には、心をほっと和ませてくれるものがあります。2回の短い講座の中で、お点前をいだいて茶道の基本を体験します。  
▶講師/後藤豊子さん(宗偏流豊橋支部)他  
▶定員/12名 ▶参加費/2,000円 ▶申込み/先着順、1月13日(火)9時から三の丸会館(Tel.0532-56-6022)受付:9時〜16時30分



美しく整う日本舞踊エクササイズ

■とき/令和8年3月26日(木)  
午前11時〜正午  
■ところ/豊橋市民文化会館多目的室  
日本舞踊のしなやかな動きを取り入れた、体にやさしい健康運動を行います。この講座では、日本舞踊家 西川右近さんと、スポーツ科学の研究者 湯浅景元さんにより考案されたエクササイズ「NOSS(ノス)」を体験します。和の所作をもとに、無理なく体を動かします。難しい振付はなく、初めての方や運動が苦手な方でも安心してご参加いただけます。着物でなく、動きやすい服装でご参加ください。  
▶講師/西川満翠さん(満帆会) ▶定員/10名程度 ▶参加費/500円 ▶申込み/先着順、3月1日(日)9時から豊橋市民文化会館(Tel.0532-61-5111)受付:9時〜16時30分 ※豊橋市民文化会館ホームページからお申込みいただけます。

冬の子ども茶道教室(裏千家)

■とき/令和8年2月11日(水・祝)  
午前の部/10時〜12時  
午後の部/13時〜15時  
■ところ/豊橋市三の丸会館  
毎年恒例の冬の子ども茶道教室(裏千家)を開催します。茶道の礼儀作法を体験します。 ▶講師/河原崎宗妙さん(裏千家今和会) ▶定員/各18名  
▼対象/小中学生 ▶参加費/700円 ▶申込み/記載のQRコードよりお申込みください。



半日クラス合唱部

2026年 参加者募集  
3月21日(土)  
10:00〜12:30(受付は9:30〜)  
ライフポートとよはし  
▼対象/高校生以上 ▼定員/50名程度(先着順) ▼参加料/1,000円 ▼テーマ曲/糸(中島みゆき) ▼講師/内藤智恵(指揮)、鈴木雅子(ピアノ) ▼その他/手ぶらでOK。パートは問いません。男性参加も歓迎。  
▼申込み/左記QRコードよりまたはライフポートとよはし(Tel.0532-33-2111)へ ▼問合せ/豊橋文化振興財団(☎0532-39-5211)



中学校のクラス合唱を思い出して、いま再び歌ってみませんか?

楽譜が読めなくても大丈夫。その日集まった仲間と練習して、みんなでテーマ曲を歌います。「歌う」喜びをみんなで分かち合う半日です。男性も大歓迎!



文化短信	
▼11月 水曜歌会 いつもいつも寝てある姿はか いづれもニニチユアッくさ 見せ生きたるを散す流 炎天下木陰の爽やか れる汗に風の吹く 灯ともせばヤモリの赤 走り出す互いにビビり と止まる米粒がくっつき 足裏に米粒が何度か試す て素足で床を何度か試す 久々に一晩通しの眠り得る 月十日の朝は大好き 街の色も商店街を歩くと て背ばかり高きコンクリ こわごとと前歯の緩きを 撫で歯科に電話したむき 空き家に残り残さず伊藤 風待つ吾に秋を伝えへる ラジオ体操見上げる団 描きわに秋が思える切 描きわに秋が思える切 れは藤籠もりのだき長 れは藤籠もりのだき長 夏負けを吹き飛ばした かえりて友の舞のひう 十一月 日曜歌会 鈴木 忘れた 日曜歌会 鈴木 十二月 日曜歌会 鈴木 夏服のままお彼岸に志 り令和七年地球沸騰	タベより冷たく落ちる秋 細き茎持つ野菊たう 中継所から出し切り むどれ程の重みかたす はどれ程の重みかたす 十一月 日曜歌会 鈴木 時雨るるや継嗣なき家 嫁ぐ日や小春日和を後 蹲ひに水をほしがる後 何処ゆくもリュック加 小春人 一回句会 河 六九人 一回句会 河 遺されし骨の髄まで 高齡者ばかり集まり 太古駆せ古墳巡り大 極月や磨きあげた窓 冬ぬくし苦楽を越へ 逆さ富士雲を枕に 信号待ち押さるる 走路の渦に一步を わる
六八九回句会 母の齢越えて母恋ふ 怒りには笑みもて返 秋の夜や友の遺句集 近つけば更に遠のく 町の音消えて闇夜の 水澄むや小流れ沿ひ 子は肩にコスモス迷 道端にはみ出して 六九〇回句会 時雨るるや継嗣なき 嫁ぐ日や小春日和を 蹲ひに水をほしがる 何処ゆくもリュック 小春人 一回句会 河 六九人 一回句会 河 遺されし骨の髄まで 高齡者ばかり集まり 太古駆せ古墳巡り大 極月や磨きあげた窓 冬ぬくし苦楽を越へ 逆さ富士雲を枕に 信号待ち押さるる 走路の渦に一步を わる	細き茎持つ野菊たう 中継所から出し切り むどれ程の重みかたす はどれ程の重みかたす 十一月 日曜歌会 鈴木 時雨るるや継嗣なき家 嫁ぐ日や小春日和を後 蹲ひに水をほしがる後 何処ゆくもリュック加 小春人 一回句会 河 六九人 一回句会 河 遺されし骨の髄まで 高齡者ばかり集まり 太古駆せ古墳巡り大 極月や磨きあげた窓 冬ぬくし苦楽を越へ 逆さ富士雲を枕に 信号待ち押さるる 走路の渦に一步を わる